

急

1233

地甲为二十七号

昨十九日七月十二日勅令才五十五号
播、来ハ二十一日一月一日、本邦一般ノ標
準、内夕用、付、来一月一日、初起即于
標準時午前零時ヲ一般ニ告知、糶、
度、執、平、常、号、絶、故、及、相、成、糶、
、移、臨、時、号、絶、執、行、相、成、糶、
、及、内、照、令、号、也

明治二十九年三月十五号

内務大臣伯耆山縣少朋

陸軍大臣伯耆大山山嚴殿

文部省 第四四四號



三月十五日

三月十五日



採收

第 總

紙 用 議 決

大臣

總務局長



總務局次長

起草 清水

總務局 省中各局

局長



省別各局

課長



受領 番 號

考中記。他部

廳名

内務省

件 名 臨時号の施行之件

送乙第議之按(號) 明治三十年十二月十九日

東京陳述書一紙を呈

十二月廿二日

来一月一日、初起昂千標準時午前零

時、一般ニ通告、為ノ臨時号の施行

ノ等、府別、府の各局に於て、臨時号の施行

ノ者、引連會及之、既、臨時号の施行

十月廿日

方ハ之警者預テ日者地理局觀測
課ニ奉命セテ夜号砲施打スニ尚当日
ヨリ平常号砲、為ノ時々、時辰後、
查方モ同様凡計ヲ之

仙臺(名古屋)大阪廣島熊本

疎臺(名古屋)

十二月廿二日

本一月一日、初起、昂子標、華時午前、雷雨
附テ一被ニ告志、為ノ臨時号砲施打ニ
安否が、所の、危中、見、口、地、地、号、通、内、警、者
ヨリ、照、會、五、之、時、余、附、辰、後、調、査、方
ハ、地、(名古屋)、金、沢、各、地)、於、テ、之、警、者
預、テ、電、信、分、局、ニ、奉、命、セ、テ、夜、号、砲、施、打
ス、ニ、尚、當、日、ヨリ、平、常、号、砲、為、ノ、時、々、

1236

時辰倭国書方モ日振計ノ已

陸軍省

採
取
無
効

1237

電
報

電報局に在る電報

法
治
局
大
法
五
小

立
月
廿
二
日

昨十九年七月十二日初令が五十一号
 二枚り来る二十年一月一日より本邦一
 般ノ標準時ヲ用テ元月一日
 ノ初ノ時昂チ標準時午ノ前零時
 ヲ一報ニ知ラセノ為メ臨時号ヲ施
 行ノ義ニテ節ヲ節會アリタリ右
 号ヲ施行スヘトモ委細郵便
 但時計台セ方ハモ地電信分局
 一係り合ス(シ)

名
古
屋
電
報
局

地
界
人
金
法
に
於
テ
電
報
局

